

2024年12月24日作成

第1.0版

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

小児腫瘍形成性虫垂炎に対する治療方針の検討

1. 対象となる患者さん

2015年1月～2024年10月の間に当院で急性虫垂炎に対し手術治療を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科 洲尾 昌伍

3. 研究の目的と意義

小児腫瘍形成性虫垂炎に対しては、術中の臓器損傷や術後の合併症の頻度が増加することが報告されており、緊急手術を行うべきかの判断に迷うことがあります。当科では腫瘍形成性虫垂炎に対し、初期対応として緊急手術を行う場合と抗生剤による保存的治療を行っていますが、その判断に定まった方針はありません。今回の研究では、当科での腫瘍形成性虫垂炎に対する治療の現状を調査し、今後の治療方針を検討することを目的としています。

小児腫瘍形成性虫垂炎に対する治療方針を検討することは、今後、当科で急性虫垂炎治療を行っていく上で重要な情報となりうると考えています。

4. 研究の方法

2015年1月から2024年10月までに16歳未満の急性虫垂炎に対し虫垂切除を施行した患者さんのうち、手術前の画像検査所見で腫瘍形成性虫垂炎と診断された症例を抽出し、緊急手術を施行された患者さんと抗生剤による保存的治療を施行された患者さんの2群に分け、比較検討を行います。2群間の比較により、今後の治療方針を検討いたします。

5. 使用する情報

患者さんの年齢、性別、虫垂径、発症から受診までの期間、手術前の血液生化学所見、糞石の有無、麻痺性イレウスの有無、腹水の有無、手術成績として、手術時間、出血量、術後経口摂取開始日数、入院期間、術後血液生化学所見、術後合併症の有無。

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2025年12月31日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科 洲尾 昌伍

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：surg-1@naramed-u.ac.jp